

イベント概要

[企業名] 日本製紙株式会社

[企業 ID] 3863

[イベント言語] JPN

[イベント種類] 決算説明会

[イベント名] 2024 年度 第 1 四半期決算説明会

[決算期] 2024 年度 第 1 四半期

[日程] 2024 年 8 月 7 日

[時間] 17:00 – 17:44
(合計：44 分、登壇：12 分、質疑応答：32 分)

[開催場所] インターネット配信

[登壇者] 取締役 常務執行役員 管理本部長 板倉 智康 (以下、板倉)
常務執行役員 企画本部長 瀬邊 明 (以下、瀬邊)
経理部長 小出 亮 (以下、小出)
経営企画部長 佐野 孝典 (以下、佐野)

連結損益概要

	2023年度 1Q実績	2024年度 1Q実績	(億円)	
			増減額	増減率
売上高	2,874	2,870	▲4	▲0.1%
営業利益	8	41	33	409.3%
経常利益	4	50	46	1,292.1%
当期純利益*	▲53	▲11	42	—

* 親会社株主に帰属する当期純利益

■売上高は、紙・板紙事業の需要減少影響があるものの、輸出の拡販によって前年同期並み。

■営業利益は、製品の価格修正や原価改善の効果が発現し増益。

■特別損益は、Opal社の事業構造改善費用を計上。

Copyright © NIPPON PAPER INDUSTRIES CO., LTD. All rights reserved 2

板倉： 管理本部の板倉でございます。よろしくお願いいたします。私から、2024 年度第 1 四半期決算概要につきましてご説明させていただきます。

2024 年度第 1 四半期の業績概要です。売上高は、紙・板紙事業の需要減少影響による販売数量減少があるものの、輸出の拡販や円安の影響もあり、生活関連事業の伸長もあり、売上高が前年同期並みの 2,870 億円となっております。損益につきましては、製品の価格修正や原価改善の効果が発現しており、営業利益としては対前年で 33 億円増益の 41 億円となっております。特別損益項目については、Opal 社における特別退職金など事業構造改善費用を 31 億円計上しております。

以上の結果、経常利益で 50 億円、当期純損失として 11 億円となっております。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasia.com

セグメント別概要

(億円)

	売上高			営業利益		
	2023年度 1Q実績	2024年度 1Q実績	前年 同期比	2023年度 1Q実績	2024年度 1Q実績	前年 同期比
紙・板紙	1,433	1,419	▲14	2	24	22
生活関連	1,068	1,083	15	▲23	▲20	3
エネルギー	137	115	▲22	5	5	0
木材・建材・ 土木建設関連	167	184	17	23	22	▲1
その他	69	69	0	1	10	9
合計	2,874	2,870	▲4	8	41	33

Copyright © NIPPON PAPER INDUSTRIES CO., LTD. All rights reserved 3

こちらは、セグメント別の売上高と営業利益になります。

売上高は、生活関連事業、木材・建材・土木建設関連事業で増収、紙・板紙事業、エネルギー事業で減収となり、2,870 億円となりました。

営業利益は、紙・板紙事業、生活関連事業、その他事業で増益となり、41 億円となりました。詳細はのちほどセグメント別業績のところで説明いたします。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
 フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasia.com

増減要因内訳

(億円)

		紙・板紙事業		生活関連事業	
数量・売価	17	0	－	17	－
原燃料価格	12	11	チップ ▲14、古紙 ▲7、パルプ ▲1、 重油 ▲5、石炭 38、LNG 2、薬品他 ▲2 (価格影響 49、為替影響 ▲38)	1	パルプ ▲1、石炭 2、 薬品他 0
コストダウン等	▲3	▲3	原価改善8、労務費▲3、物流費▲8	0	－
その他	▲1	14	海外事業 13、減価償却 5、退職給付費用 9、 受払影響 4、その他 ▲17	▲15	海外事業▲13、減価償却▲3、 受払影響ほか 1
合計	25	22	国内 9、海外 13	3	国内 16、海外 ▲13
その他事業	8	エネルギー 0、木建土 ▲1、その他 9			
営業利益	33				
営業外損益	13	金融収支 3、持分法投資損益 11、為替差額 ▲8、その他 7			
経常利益	46				

Copyright © NIPPON PAPER INDUSTRIES CO., LTD. All rights reserved

4

増減要因の内訳はご覧のとおりとなります。

紙・板紙事業ですが、対前年では22億円の増益となります。数量・売価は、プラスマイナスゼロでございます。販売数量は減少しておりますが、輸出も含めた売価のプラスでゼロです。原燃料価格ですが、円安およびチップや古紙、薬品を中心とした原燃料価格高騰によるコストアップがありましたが、全体としては石炭価格の下落などもありまして、11億円の増益効果になっております。

コストダウン項目は、安価資材の使用など操業の工夫による原価低減などにより、原価改善効果は発現しておりますが、労務費、物流費といった項目ではコストアップになっております。

続いて生活関連事業ですが、対前年で3億円の増益となっております。国内事業は、パッケージ、家庭紙・ヘルスケアでの価格修正効果、ケミカルでの販売数量増加による増益になります。海外事業は、Opal社は輸出販売価格の下落や為替の影響、NDP社は、2024年1月に発生しました寒波による操業トラブルの影響などで減益となっております。

その他事業は、エネルギー事業は前年並み、木材・建材・土木建設関連事業は、若干ですが減益、その他事業は9億円の増益となっております。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasia.com

紙・板紙事業

(億円)

売上高			営業利益		
2023年度 1Q実績	2024年度 1Q実績	前年同期比	2023年度 1Q実績	2024年度 1Q実績	前年同期比
1,433	1,419	▲14	2	24	22

- 国内
 - ・洋紙と板紙の国内販売数量は、需要が低調に推移し、前年同期比で減少。
 - ・石炭価格が下落したことや原価改善の効果が発現したことなどにより、前年同期比で増益。
- 海外
 - ・十條サーマル(JTOy)は、欧州における感熱紙の需要が回復したことにより、営業利益は黒字に転じた。

Copyright © NIPPON PAPER INDUSTRIES CO., LTD. All rights reserved 5

ここからは、セグメント別業績についてご説明いたします。まず、紙・板紙事業です。

国内事業について、洋紙、板紙とも需要が低調に推移しまして、国内の販売数量は前年同期を下回っております。価格維持の下、石炭価格などの下落もありました。それと原価改善の効果が発現して、増益でございます。

海外事業ですが、十條サーマルは、欧州における感熱紙の需要が回復したこともあり、営業利益は黒字に転じてきております。

以上の結果、紙・板紙事業については、前年に対して減収増益になっています。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
 フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasia.com

生活関連事業

(億円)

	売上高			営業利益		
	2023年度 1Q実績	2024年度 1Q実績	前年 同期比	2023年度 1Q実績	2024年度 1Q実績	前年 同期比
国内	503	527	24	14	30	16
海外	565	556	▲9	▲37	▲50	▲13
合計	1,068	1,083	15	▲23	▲20	3

パッケージ 1、ケミカル 12
家庭紙・ヘルスケア 3
Opal ▲10、NDP ▲4、TSP 1

- 国内
 - ・溶解パルプ(DP)や、機能性コーティング樹脂などの販売数量は増加。
 - ・ティッシュやトイレットロール、液体用紙容器などの販売数量は減少。
 - ・製品の価格修正が寄与したことで、増収増益となった。
- 海外
 - ・Opalは、輸出販売価格の下落や為替影響によって、前年同期比で減益となった。
 - ・日本ダイナウェーブパッケージング(NDP社)は、寒波による操業不調などのため、減益となった。

Copyright © NIPPON PAPER INDUSTRIES CO., LTD. All rights reserved

6

こちらは、生活関連事業の業績になります。

国内と海外を分けております。国内事業は、溶解パルプや機能性コーティング樹脂などの販売数量は増加しておりますが、ティッシュ、トイレットロール、液体用紙容器の販売数量は減少しております。全体として製品の価格修正が寄与したこともあり、増収増益になっております。

海外事業の内訳を書いておりますが、Opal社は、輸出の販売価格の下落あるいは為替の影響で、前年同期比で減益となり、営業利益の赤字が拡大したのが第1クォーターの状況でございます。北米のNDPも、先ほど申し上げた2024年1月に発生した寒波による操業不調などの影響により、対前年で減益でございます。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasia.com

エネルギー事業

(億円)					
売上高			営業利益		
2023年度 1Q実績	2024年度 1Q実績	前年 同期比	2023年度 1Q実績	2024年度 1Q実績	前年 同期比
137	115	▲22	5	5	0

・石炭価格の下落に伴う販売電力価格の低下によって前年同期比で減収となった。

木材・建材・土木建設関連事業

(億円)					
売上高			営業利益		
2023年度 1Q実績	2024年度 1Q実績	前年 同期比	2023年度 1Q実績	2024年度 1Q実績	前年 同期比
167	184	17	23	22	▲1

・新設住宅着工戸数が減少したものの、燃料チップの取扱量が増加したことなどにより、増収減益となった。

Copyright © NIPPON PAPER INDUSTRIES CO., LTD. All rights reserved 7

エネルギー事業でございます。

一つは、メンテナンスの休転の日数が増えたことと、石炭価格の下落に伴う販売電力価格、単価の低下で減収ですが、ほぼ横ばいの利益を確保している状況になっています。

木材・建材・土木建設関連事業ですが、こちらは新設住宅着工戸数が減少はしておりますが、燃料チップの取扱量が増加したことで増収ですが、利益はほぼ横ばい、若干の減益になっております。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasia.com

連結損益概要

(億円)				
	2023年度 実績	2024年度 予想	前年同期比	
			増減額	増減率
売上高	11,673	12,000	327	2.8%
営業利益	173	230	57	33.2%
経常利益	146	190	44	30.6%
当期純利益*	227	30	▲ 197	▲ 86.8%

* 親会社株主に帰属する当期純利益

■ 2024年度の業績予想は、2024年5月15日に公表した内容から変更ありません。

Copyright © NIPPON PAPER INDUSTRIES CO., LTD. All rights reserved 8

2024年度の通期の業績見通しは、5月15日に公表した内容から変更はございません。

業績については、以上となります。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasia.com

拠点		設備	生産能力(千t/年)	生産品種	予定時期
白老工場	停機	8号抄紙機	64千t	上質紙・晒クラフト紙	2025年9月末
	停機	N2抄紙機	232千t	新聞用紙	2025年6月末
八代工場	停機	9号ボイラー(石炭専焼)	—	—	2025年11月末
	稼働	抄紙機	—	家庭紙	2027年度

- グラフィック用紙の需要減少加速に対応し、新たな生産体制再編成案を決定
八代工場において輸出を中心とした家庭紙事業の展開を決定
- 停機に伴う効果と影響
 - ・減損損失：現在精査中(2024年度第2四半期にて計上予定)
 - ・人員措置：停機設備に係る従業員は原則として各工場内での雇用を継続
 - ・固定費削減による改善効果：約20億円(施策完了後の2026年度までに発現)
 - ・GHG排出量削減：八代工場での石炭使用量はゼロ(9号ボイラー停機後)
 - ・生産：停機設備で生産している製品は、両工場を含めた当社での生産を継続

Copyright © NIPPON PAPER INDUSTRIES CO., LTD. All rights reserved

9

瀬邊：企画本部の瀬邊でございます。最後に私から、本日公表いたしました生産体制再編成についてご説明を申し上げます。

今回、白老工場の8号抄紙機、そして八代工場N2抄紙機と9号ボイラーの停機を決定しております。また併せまして、八代工場において、輸出を中心とした家庭紙事業を展開することも決定いたしました。

今回の停機によります効果と影響は、記載のとおりでございます。

固定資産の減損損失については現在精査中でございますが、第2四半期において計上する予定でございます。停機いたします設備に関わる従業員については、原則としてそれぞれの工場内、サイト内での雇用を継続いたします。固定費削減による改善効果ですが、約20億円と想定をしております。2026年度までには、完全に発現をする見込みです。

八代工場は、石炭専焼の9号ボイラーを停機いたしますが、これにより石炭の使用量をゼロといたしましてGHG排出量を削減いたします。家庭紙事業につきましては、2027年度をめどに開始する見通しです。撤去いたします抄紙機で生産しております製品は、両工場を含め当社内での生産を継続する計画でございます。固定費削減と稼働率向上により、コスト競争力の強化を図り、これまでどおりの供給を維持する方針でございます。

グラフィック用紙の生産体制再編成は、需要減少が加速しておりますが、その中で2028年度をめどに生産拠点を3カ所程度に集約することにしております。これにあたりましては、生産性の向上

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasia.com

と GHG の削減を一体的に、それからバックカスティングで遅滞なく進めまして、全体として競争力の強化を図っていく計画でございます。

それと同時に、これまでグラフィック用紙事業で培ってまいりました人材、それからパルプやユーティリティの供給力、サプライチェーンなどのリソースを、生活関連を中心とする成長領域の拡大に活用して、事業構造転換を確実に進めていく方針でございます。以上でございます。

以上をもちまして、第 1 四半期決算概要についての説明を終わらせていただきます。ありがとうございました。

サポート

日本	050-5212-7790	米国	1-800-674-8375
フリーダイヤル	0120-966-744	メールアドレス	support@scriptsasia.com



免責事項

本資料で提供されるコンテンツの信憑性、正確性、完全性、最新性、網羅性、適時性等について、SCRIPTS Asia 株式会社（以下、「当社」という）は一切の瑕疵担保責任及び保証責任を負いません。

本資料または当社及びデータソース先の商標、商号は、当社との個別の書面契約なしでは、いかなる投資商品（価格、リターン、パフォーマンスが、本サービスに基づいている、または連動している投資商品、例えば金融派生商品、仕組商品、投資信託、投資資産等）の情報配信・取引・販売促進・広告宣伝に関連して使用してはなりません。

本資料を通じて利用者に提供された情報は、投資に関するアドバイスまたは証券売買の勧誘を目的としておりません。本資料を利用した利用者による一切の行為は、すべて利用者の責任で行っていただきます。かかる利用及び行為の結果についても、利用者が責任を負うものとします。

本資料に関連して利用者が被った損害、損失、費用、並びに、本資料の提供の中断、停止、利用不能、変更及び当社による利用者の情報の削除、利用者の登録の取消し等に関連して利用者が被った損害、損失、費用につき、当社及びデータソース先は賠償又は補償する責任を一切負わないものとします。なお、本項における「損害、損失、費用」には、直接的損害及び通常損害のみならず、逸失利益、事業機会の喪失、データの喪失、事業の中断、その他間接的、特別的、派生的若しくは付随的損害の全てを意味します。

本資料に含まれる全ての著作権等の知的財産権は、特に明示された場合を除いて、当社に帰属します。また、本資料において特に明示された場合を除いて、事前の同意なく、これら著作物等の全部又は一部について、複製、送信、表示、実施、配布（有料・無料を問いません）、ライセンスの付与、変更、事後の使用を目的としての保存、その他の使用をすることはできません。

本資料のコンテンツは、当社によって編集されている可能性があります。

サポート

日本	050-5212-7790	米国	1-800-674-8375
フリーダイヤル	0120-966-744	メールアドレス	support@scriptsasias.com